

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組： 齋藤 ）（B組： 齋藤 ）（C組： 齋藤 ）（D組： 齋藤 ）（E組： 齋藤 ）

使用教科書：（ 実教出版 歴史総合 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特性と日本及び世界の歴史の展開に関して理解を深めるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理・歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多角的・多面的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理・歴史にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国や他国の歴史・文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・歴史的事象の背景やあらましを把握し、史料や図表を使いながら説明したり、理解できる。 ・地図や史料を用いて歴史的事象への理解を深めている。	・史料や図版を用いて歴史的事象について考察を深め、自分の考えを表現することができる。 ・歴史的事象をさまざまな角度から考察し、自分の考えをまとめることができる。	・歴史的事項について多角的に考察し、自分の考えをまとめ、人に伝えたり、ともに考えたりして思考を深めている。 ・過去の歴史事象に学び、これからの世界をよりよいものとするために現代世界の問題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	歴史の扉 第1章 近代化への胎動 1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2. 江戸時代の生産・流通と諸改革 3. 幕政の改革と東アジア世界	・17世紀に成立した日本の江戸幕府と中国の清朝について考える。 ・江戸幕府が対外関係の場とした四つの口について考える。 ・江戸幕府の田沼意次と松平定信の2人の政策の違いについて考える。 ・商品経済の発達が生じた江戸時代の経済にどのような影響を与えたのか考える。	・本文を読んで江戸時代の日本にどのような身分があり、どのような問題があったかを理解している。（知） ・四つの口の交易品や相手国など違いをまとめ、場所別に説明することができる。（技） ・日本の俵物の内容について理解し、中国で取引されている商品についても必要な情報を集め、説明することができる。（技） ・西洋の近代的国際関係と清の冊封体制との違いを説明することができる。（技）	○	○	○	4
	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 1. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 2. フランス革命とウィーン体制 3. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 4. オスマン帝国の衰退とロシア 5. アヘン戦争の衝撃と日本の開国 6. 江戸幕府の滅亡	・イギリスで産業革命が起きた背景や社会の変化に着目させる。 ・アメリカが独立戦争を起こした理由や独立した国家の仕組みについて多面的・多角的に考察させる。 ・独立後のアメリカ合衆国の発展とその過程で起きた南北戦争について考える。 ・アメリカ合衆国の西部開拓の背景と問題点について考えさせる。 あわせて使役された労働力についても考える。	・産業革命期に発明された品目や役割について情報をまとめることができる。（技） ・「アメリカ独立宣言」の内容を理解し、アメリカの独立に与えた影響について説明することができる。（知） ・フランス革命の背景、内容、影響について、説明することができる。（知） ・太平天国とインド大反乱の起きた地域を説明することができる。（知） ・明治政府の新政策について、それぞれまとめ、その目的を説明することができる。（技）	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 1. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 2. 明治政府の諸改革 3. 日本のアジア外交と国境問題 4. 自由民権運動と大日本帝国憲法	・イギリスとフランスの19世紀の政治情勢と繁栄のもととなった海外植民地の形成に着目させる。 ・イタリアの統一過程と問題点に気づかせる。 ・ドイツの統一過程と日本に与えた影響に気づかせる。 ・明治新政府の政策がどのような理由で推進されたのかに気づかせる。 ・明治新政府が中央集権や富国強兵を勧めるためにおこなった政策に着目させる。	・イタリアとドイツがどのような地域を包摂しているか情報を集めてまとめることができる。（技） ・明治政府の新政策について、それぞれまとめ、その目的を説明することができる。（主） ・日本の国境画定を地図や図表を使って説明することができる。（技）	○	○	○	6
	第4章 帝国主義の時代 1. 帝国主義の時代へ 2. 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 3. 日清戦争後の東アジア 4. 日露戦争と東アジアの変動 5. 日本の産業革命	・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてののアジアの政治と社会を理解している。	・帝国主義における議員と資本家の役割の差についてまとめ、説明することができる。（技）	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 1. 第一次世界大戦 2. ロシア革命とソ連の成立 3. 米騒動とデモクラシー	・第一次世界大戦の全容について考える。 ・第一次世界大戦の影響について考える。 ・ロシア革命の原因や経過について考える。 ・ロシア革命が世界に与えた影響を考える。 ・第一次世界大戦が日本に与えた影響について考える。	・4年間の第一次世界大戦の全容を理解している。(知) ・1905年のロシア第一革命から1922年のソ連の結成までの流れを理解している。(知)	○	○	○	6
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 4. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 5. アジアの民族運動 6. 第一次世界大戦後の欧米諸国 7. 広がる社会運動と普通選挙の実現	・第一次世界大戦後の国際秩序とヴェルサイユ体制について考える。 ・ワシントン体制について考える。	・ヴェルサイユ条約の内容と問題点についてまとめることができる。(主) ・地震などの予期せぬ災害が社会にもたらす影響を理解している。(知)	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第6章 経済危機と第二次世界大戦 1. 世界恐慌と各国の対応 2. ファシズムの時代 3. 満州事変と軍部の台頭 4. 日中戦争と戦時体制	・世界恐慌と日本への影響について考える。 ・世界恐慌がイギリス・アメリカ・ソ連に与えた影響を考える。 ・イタリアやドイツでファシズムが台頭した理由を考える。 ・ドイツとイタリアの対外進出と各国の対応について考える。 ・満州事変と「満洲国」の成立、日本の孤立化について考える。 ・日中戦争の内容と影響を考える。 ・戦時下の日本社会について考える。	・世界恐慌の影響を受けず、工業生産を伸ばした国はどこだろうか。また比較的早く工業生産を回復させた国はどこだろうという問いに答えることができる。(知) ・日本が「満洲国」を建国した意図、コラムを利用して、日本が満義を執政としたねらいも説明でき、さらに史料「リットン報告書」を利用して国際社会の反応もまとめることができる。(技)	○	○	○	6
	第6章 経済危機と第二次世界大戦 5. 第二次世界大戦の勃発 6. 第二次世界大戦の終結 7. 国際連合の成立と冷戦 8. 日本占領と日本国憲法 9. 朝鮮戦争と日本	・第二次世界大戦のはじまりについて考える。 ・アジア太平洋戦争について考える。 ・第二次世界大戦の展開をみる。 ・イタリア・ドイツ・日本の敗北について考える。 ・国際連合の成立と組織の内容について考える。 ・冷戦について考える。	・ドイツが独ソ不可侵条約を締結した意図を図表を用いて説明することができる。(技) ・「日米開戦の動きの整理」をみて、戦争に至る過程を確認しつつ、戦争を回避するとすればどの段階が大切かを、当時の日本の状況をふまえつつまとめることができる。(技)	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第7章 冷戦と脱植民地化 1. 植民地の独立 2. 米ソ両陣営の動揺 3. 日本の国際社会復帰と高度経済成長 第8章 多極化する世界 1. 石油危機と世界経済 2. 緊張緩和から冷戦の終息へ 3. 日本の経済大国化	・植民地の独立について考える。 ・第三勢力の台頭について考える。 ・ベトナム戦争とアメリカ社会との関係を考える。 ・社会主義陣営とくにソ連と中国の動揺を考える。 ・高度経済成長と生活の変化、成長の代償と市民運動について考える。	・p.138の図①やトピック「新たな経済秩序の形成」をみて、安全保障理事会や国際通貨基金などの国際連合に関係する機関の役割と問題点を説明することができる。(技能) ・p.139のドイツ分割を示す地図④をみて、写真⑤のソ連が行ったベルリン封鎖の政治的意図を理解している。(知識) ・p.139の地図③をみて、ヨーロッパの冷戦の勢力図をままとるとともに、アジアでの冷戦の構造についてもまとめることができる。(技能)	○	○	○	10
	第9章 グローバル化と現代世界 1. 地域紛争と対立 2. 国際秩序の変容	・冷戦後の世界、民族の対立を考える。 ・9.11と戦争の変化・中国・インドの台頭について考える。 ・地域統合の深化やグローバル化への対応について考える。	・地図に書かれている世界の地域紛争について調べ、1つ1つの出来事を理解している。(知) ・図表をみて湾岸戦争とイラク戦争の違いを理解している。(知) ・SDGsの目標について調べてまとめ、どの問題が深刻かをまとめることができる。(主)	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							70